



障がい福祉教育

# ゲストティーチャーリスト

～こころのバリアフリーの推進に向けて～



新潟市福祉部障がい福祉課



2019.02.28

## ともに体験する機会を通じ、主体的に考える気持ちを

新潟市では、平成28年4月に障がい等を理由とした差別を解消し、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指すため「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を施行し、平成29年度には、条例の理念や目的などをより深く理解してもらうための事業である「ともにプロジェクト」を立ち上げました。

「ともにプロジェクト」の取り組みの一環として、こどもの頃から障がいのある人と交流し、障がいへの理解を深め、地域の中で障がいのある人と助け合い・支え合うことの重要性を学ぶ、「こころのバリアフリー」を推進したいと考えています。

この度、各学校等と連携を取ることができる団体・施設の情報を整理し、「ゲストティーチャーリスト」としてまとめました。

「総合的な学習の時間」や「社会」など、授業を行う際の参考として頂ければ幸いです。



### ご注意頂きたい点

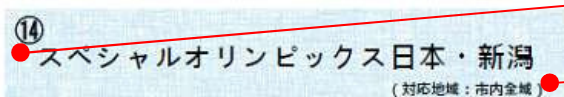
本リストに掲載されている団体や組織を招いて福祉教育を行う場合、その運営主体は各学校となります。講師との調整（一部団体を除く）や会場の準備、資料の作成や謝礼の用意などは、原則各学校で行って頂くこととなりますので、ご注意ください。

# 「ゲストティーチャーリスト」の活用方法について

このリストに掲載されている障がい者団体や福祉施設は「ともにプロジェクト」の趣旨に賛同して頂いている団体になります。福祉教育におけるゲストティーチャーについて依頼したい場合は、各団体・施設のページに記載されている問い合わせ先にご連絡頂き、ご相談ください。

※各団体やゲストティーチャーの方の都合上、学校側が希望する日程や内容に必ずしも添えない場合がございます。予めご了承ください。

## ● 団体ページ（4 P～） ※各障がいの特性の解説するページもありますので、併せてご活用下さい。



**団体紹介**  
知的障がいのある人にスポーツレクリエーションや競技会の場を提供している団体です。1962年に故ケネディ大統領の孫、ユニス・ケネディ・シュワイパー夫人が、自宅の庭を開放して開いたデイキャンプが、スペシャルオリンピックスの始まりです。この活動に参加する知的障がいのある人を「アスリート」と呼び、バスケットボール、ボウリング、卓球、陸上競技、サッカー、フロアホッケーなど多岐にわたるスポーツプログラムを実施しています。



**授業の流れ**（授業時間の目安：00分）

<b>SO紹介映像の視聴</b> スペシャルオリンピックスの活動をわかりやすくまとめた動画で役割を理解してもらい、知的障がいのある人への理解を深めます。	<b>フロアホッケーの体験</b> スペシャルオリンピックスの競技の一つであるフロアホッケーを体験します。こどもでも気軽に体験できるスポーツです。	<b>アスリートとの交流</b> アスリートとゲームを組んで、一緒にフロアホッケーを行います。スポーツを通じて知的障がいのある人と交流し、お互いを知り、理解を深めます。
---	--	---

**こども達に伝えたいこと**  
スペシャルオリンピックスに参加した多くのボランティアが「アスリートを変えようと思っただけで参加しただけで知的障がいというハンディキャップのあるアスリートが、自分の力を最大限に発揮しようと、一生懸命に頑張っている姿を見て、感に勇気をもりました」と感想を述べています。多くのこども達にスペシャルオリンピックス、アスリート、ボランティアのことを知ってもらい、活動に参加して欲しいです。

**問い合わせ先**  
スペシャルオリンピックス日本・新潟事務局  
〒950-2044 新潟市西区坂井砂山4-22-19  
TEL：025-378-0171 FAX：025-378-0172 HP：http://son-niigata.com

**団体の名称**

**対応できる地域**

**団体の紹介**

**授業の流れ**

各団体・施設で実施できる代表的な授業の取り組みの事例です。各学校において、取り組みを行える時間の目安や、学校の規模、児童生徒の人数に応じ、希望する内容を各団体やゲストティーチャーに相談してください。

※急な依頼の場合、十分な準備や対応が難しい場合があります。実施日の1～2か月ほど前から事前に相談してください。

**問い合わせ先**

問い合わせ先の中には、個人（自宅）の連絡先が記載されている場合があります。問い合わせする時間帯については、十分に配慮をお願いします。

## ● 施設ページ（27 P～）



**施設名**

**施設見学可能な人数**

**住所・連絡先**

**参加可能なイベント**

通常の施設見学の他、各施設で実施しているイベント等を記載しています。



# 視覚障がい



## 主な特徴

- ・人が情報を得るとき、目からの情報が80%を占められています。  
この視覚情報が入ってこないために、視覚障がいのある人は情報障がい者とも言われています。
- ・視覚的な情報を全く得られない「全盲」、視力が十分でない「弱視」、見える範囲が限られたり、中心が見えなかったり、逆に周囲が見えなかったりする「視野障がい」があり、一口に「視覚障がい」といっても、人によって見え方は様々です。
- ・このようなことから、文字を読むことができても、歩いている時に障害物にぶつかったり、つまづいたりしてしまう人や、障害物を避けて歩くことはできても、文字は読めないという人もいます。
- ・弱視の人は、白杖を持っていない場合も多く、周囲からはわかりにくいこともあります。

## このような対応をお願いします



Bさん  
話しかけるときは

- 正面から話しかけましょう。
- 本人の名前を呼び、自分の名前も名乗りましょう。



点字ブロックは、交差点の位置を示したり、行先を誘導したりしてくれる重要な道しるべです。自転車を置いたり、点字ブロックの上で立ち話などをするのはやめましょう。



盲導犬は、視覚障がい者の目の代わりとなり、お仕事をしています。工作中は、トイレも食事もせずに付き添っていますので、かわいいからといって触ったり、食べ物を与えたりしないでください。



ゲーム機や携帯電話などの「ながら歩き」は、視覚障がいのある人に気づかないことがあり、危険です。



白杖を頭上に掲げていたら、困っているサインです。積極的に声をかけましょう。

# 新潟県視覚障害者福祉協会

(対応地域：市内全域)

## 団体紹介

視覚障がいのある人の自立と社会参加を促進するとともに、生活・文化そして福祉の向上を目指し、情報提供や各種サービスを行っています。活動内容としては、視覚障がいのある人の日常生活に役に立つ生活訓練や社会参加に必要な知識技術の習得、体験、交流などを行っています。また、県や新潟市から受託して、広報誌などの点字版・音声版を作成する他、新潟県視覚障害者情報センターとして、録音図書、点字図書の作成、図書製作ボランティアの養成等にも力を入れています。

その他、新潟市の補助金をいただいて「地域活動支援センター日だまり」を運営し、視覚障がい者の皆さんの昼間の居場所として定着してきています。



音訳・点訳



歩行訓練



パソコン訓練

## 子どもたちに伝えたいこと

当協会には、視覚障がいの当事者団体や盲導犬に関わる団体、支援者団体など数多くの団体関わっています。学校の所在地やニーズにあわせ、講師を紹介することができます。子ども達には、障がいというマイナスの側面だけでなく、視覚障がいのある人の生活や、普段の暮らしの中にある工夫などを知ってもらい、どんな人でも社会で活躍できる存在であり、それができるかどうかは自分たちが住んでいる地域にかかっている、子ども達にもできることがあるということを知ってほしいと思います。

### 問い合わせ先

社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会（開所時間 月～金 9:00～17:00）

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1 新潟ふれ愛プラザ内2階

TEL：025-381-8130 FAX：025-381-8120 メール：ngt.shikaku@cello.ocn.ne.jp

# 障害者自立支援センターオアシス

(対応地域：市内全域)

## 団体紹介

### 私たちのビジョン

障がい者・高齢者・若い人・子どもたちが、様々な状況の中で共に理解し助け合い、手と手を結びあい地域で自立し、生きがいを持ちながら暮らせる社会の形成。

### 私たちのあゆみ

人生の途中で目が不自由になった患者さんの自殺をきっかけに、内科医や眼科医を中心に様々な職種やボランティアが協力し、医療・福祉連携の下、視覚障害リハビリテーションを行ってきました。

### 私たちの精神

- ・苦しんでいる人の痛みを共に感じ、悩み、どうしたらよいかを共に考える。
- ・教えてもらったことは次の人に教える。その喜びを分かち合い「やりがい・生きがい」に繋げる。

## 授業の流れ (授業時間の目安：45分×2)

### 目の不自由な人への理解と当事者の体験談、生活に使うパソコン・機器の紹介 (前半45分)

#### ①視覚障がい者の全体像をスライドを使って紹介 (全盲・ロービジョン・中途・先天盲など)

- ・オアシス物語 (苦しむ患者さんと医師の取り組みの歴史など) の紹介
- ・目のリハビリテーションの紹介 ・オアシスの特徴の説明

#### ②視覚障がい者の見え方の体験

- ・目を閉じた状態で、みかんや物を触ってもらうことで他の感覚を使ってみる体験を、自分の名前を書いてもらうことで、今までの経験の力を使う体験をしてもらう。(見えない生活になったときのことについてイメージする)



#### ③視覚障がいのあるご本人に、以前の生活や職業・家族のことをインタビュー

- ・「見えなくなって困ることや、見えなくなって逆に良かったことは？」などの質問をしてもらい、その回答を通して、悲しみ、苦しみ、楽しみ、喜びなど、ありのままの想いを伝える。

#### ④「パソコン・iPad・機器・道具の紹介と体験」

- ・機器を活用して生活する当事者の様子を知ってもらい、視覚障がいがあってもできることがたくさんあることを知ってもらう。



### 誘導歩行体験・当事者の痛みを一緒に「感じる・考える授業」 (後半45分)

#### ⑤「誘導歩行体験」困っている人への「声かけ」と誘導のやり方の体験

#### ⑥「白杖が持てないのはなぜ？」など、当事者の痛みを一緒に「感じる・考える授業」

- ・当事者の痛みをイメージしてもらうための質問を問いかけ、一緒に感じ、考える。その後、授業の振り返りを行う。



## (実際の授業の様子)



声かけ・誘導歩行体験



白杖が持てない？君たちだったら？  
「感じ・考え」発表する



最後に握手して「ありがとう」

## こどもたちに伝えたいこと

### ①イメージを変えたい

「目が不自由な人」は、小さい時から白い杖を持ち、点字が分り、全く見えない全盲の人というイメージが強いですが、実際は途中で視覚障がいになった人が8割以上。点字が読めず、白い杖が持てない弱視の方々です。音声パソコンやiPadなどの機器を活用して生活しています。

### ②差別や偏見について一緒に考えたい

どうして差別する心が生まれるのか。見えなくなると「かわいそうで何もできない人」なのか。一緒に考えていきましょう。

### ③思いやり、助け合い、ともに生きる社会に

誰もが努力してもできないことがある。だから「助けあい・支え合う」。誰もが、好きなことや得意なことがある。だから、助けてあげるだけでなく、できることはやってもらう。

「ありがとう」が飛び交う、おたがいさまの社会にしていきたいと思います。

## 問い合わせ先

NPO法人障害者自立支援センターオアシス（開所時間 火・水・木・土 10:00～16:00）

〒950-2072 新潟市西区松美台3番20号 有明福祉会館分館2階

TEL：025-267-8833 FAX：025-267-8833 E-mail：[aisuisin@fsinet.or.jp](mailto:aisuisin@fsinet.or.jp)

## 豆知識

## 知ってほしい「ほじょ犬」のこと

盲導犬は、目の見えない人・見えにくい人が行きたい時に行きたい場所へ出かけられるように障害物を避けたり、段差や角を教えたり、安全に歩くためのお手伝いをします。

また、盲導犬以外にも、身体の不自由な方の生活をサポートする「介助犬」、耳の不自由な方に音を知らせる「聴導犬」がいて、それらを合わせて「ほじょ犬」といいます。

身体障害者補助犬法により、一緒に電車やバスに乗ったり、お店などに入ることができます。また、ほじょ犬の育成は多くの寄附（募金等）によって支えられています。



盲導犬



介助犬



聴導犬

# 聴覚障がい



## 主な特徴

- ・音の強弱、高さ、低さ、鮮明さ、耳鳴りなど、その障がいの内容には個人差があります。補聴器や人工内耳で障がいの全てをカバーすることはできません。
- ・外見からは障がいのあることが分かりにくいので、「障がいの程度は軽い。耳が聞こえないだけ。」などといった誤解を受けたり、不利益を被ったり、危険にさらされたりと、社会生活上の不安は尽きることがありません。
- ・「話し言葉による意思の疎通（コミュニケーション）」ができないことが一番の悩みです。

## このようなときに困っています

### 病院の待合室で



## このような配慮があると助かります



受付などにあらかじめ「耳マーク」を掲示し、筆談対応ができることを伝えることで、聴覚障がい者は安心して順番を待つことができますようになります。

### 会議室で



- 手話通訳や要約筆記を手配を検討しましょう。
- 発言する際は、名乗ってから発言しましょう。

## コミュニケーション手段

聴覚障がい者が困っていたら、メモをとって伝えるなどの方法で情報を提供しましょう。

- 筆談  
文字を書いて伝え合う方法です。
- 手話  
手や身体の動きで表現する方法です。
- 口話  
相手の口の動きを読み取る方法です。<sup>8</sup>
- 空書  
自分の前の空間に字を書き、表現する方法です。





# NPO法人 新潟市ろうあ協会

(対応地域：市内全域)

## 団体紹介

NPO法人新潟市ろうあ協会は、聴覚障がい者の生活と権利を守り、会員相互の親睦と友愛を深め、福祉活動の推進することを目的に、手話を学ぶ健聴者と共に様々な活動を行っています。

平成18年12月には国連総会において障害者権利条約が採択され、「手話は言語である」と定義されました。私たちは、より多くの人に手話を知ってもらい、いつでも・どこでも・誰でも、手話でコミュニケーションができる新潟市になってほしいと願っています。



新潟まつりでの民謡流しの様子

### 問い合わせ先

NPO法人 新潟市ろうあ協会

〒950-0909 新潟市中央区八千代1丁目3番1号

新潟市総合福祉会館内

FAX：025-247-3040

E-Mail：niigataroua@earth.ocn.ne.jp

# 新潟市手話サークル連絡協議会

(対応地域：各サークルごとに異なる)

## 団体紹介

新潟市内にある手話サークルにより、相互の手話技術の向上や情報交換を行うために作られました。現在、市内の7つのサークルが加入し、学習情報交換会や講演会などを行っています。

学校からの依頼があれば、各サークルの聴覚障がい者会員が「聴覚障がい」を理解のためのお話をするとともに、簡単な手話でのあいさつの仕方などを教えます。

## 授業の流れ（時間の目安：要相談）

### 聴覚障がいについて

聴覚障がいの基礎知識（耳の聞こえのしくみなど）や、聴覚障がいのある方が日々の生活でどのような不便があり、またどのように工夫し、生活しているのか学びます。

### 手話の体験

あいさつや自己紹介など、簡単な手話を学びます。



### ろうあ者との交流

覚えた手話で、聴覚障がいのある人と会話をします。手の動きだけでなく、顔の表情も重要になることを体験します。

## こども達に伝えたいこと

手話は難しいと思う方もいるかもしれませんが、手話の成り立ちを知ると「なるほど!」と思えるような手話がたくさんあり、おもしろいです。多くの人にこどもの頃から手話について興味を持ってもらいたいと考えています。「耳が聞こえない」というととても不自由に感じるかもしれません。しかし、聴覚に障がいのある方も私たちと同じように勉強やスポーツをし、生活を楽しんでいます。ぜひ手話を覚えて、ろう者の生活について知ってもらいたいと思います。

## 手話サークル一覧

### ① 新潟手話サークル

【対応地域】 中央区

【問合せ】 五十嵐 電話：090-5753-5134

【コメント】

「おはよう」「こんにちは」「お元気ですか?」の言葉に手話を添えてみませんか。周りの世界が少しひろがるかもしれません。

### ② ほほえみ会

【対応地域】 東区・中央区・江南区・西区

【問合せ】 永井 電話：025-277-5806

【コメント】 (FAX兼用)

こどもから年配の方まで約40人程で毎週火曜の夜に総合福祉会館で活動しています。交流会やクリスマス会など、楽しい行事もたくさんあります。

### ③ つづみ草

【対応地域】 東区

【問合せ】 大槻 電話：090-9421-0507

【コメント】

平成5年9月に設立しました。毎週金曜日午前10時～正午まで中地区公民館で学習会を開いています。聴覚障がいのある方から手話を教えてもらうなど、楽しく学習しています。

### ④ ほたる (巻)

【対応地域】 西蒲区

【問合せ】 渡辺 電話：0256-72-5144

【コメント】

手話を学び、ろう者との交流をすることが目的です。地域活動や行事、講演会、学習会に参加し、毎週土曜日にはサークルを開催します。老若男女問わず楽しく学習をしています。♫

### ⑤ たつのこ (亀田)

【対応地域】 江南区

【問合せ】 小林 電話：025-276-0435 (FAX兼用)

※日中は連絡不可のため、FAXで連絡してください

【コメント】

旧亀田町の時から活動をしているサークルです。会員全員が勉強熱心で、毎週水曜日にはふれ愛プラザで学んでいます。また、亀田まつりの民謡流しに参加するなど、地域と一緒に活動しています。

### ⑥ みずわ (新津)

【対応地域】 秋葉区

【問合せ】 古川 電話：0250-22-5900

【コメント】

昭和52年創立の歴史のあるサークルです。毎週火曜日に昼の部は新津地域交流センターで、夜の部は新津健康センターで定例会を行っています。学習や交流を通じて、聴覚障がい者と健聴者がお互いに理解を深め合いながら、和気あいあいと楽しく活動しています。

### ⑦ つばさ (白根)

【対応地域】 南区

【問合せ】 阿部 電話：080-1180-9448

鈴木 電話：090-1548-9111

【コメント】

交流を中心とし、和気あいあいと楽しく学習しています。手話で通じる楽しさや大切さを体験して頂きたいと思います。



新潟手話サークルの学習の様子



# 新潟県中途失聴・難聴者協会新潟支部

## 要約筆記サークル

### 要約筆記とは

「聞こえない＝手話」と思う人も多いですが、手話でコミュニケーションを取っている聴覚障がい者は全体の約2割と言われていています。要約筆記は聴覚に障がいのある人への情報保障手段の一つで、会議や講演会などで話されている内容（音声）を、その場で要点をまとめて文字にして伝える通訳のことです。手話を主なコミュニケーション手段としている人にとっても要約筆記は必要です。要約筆記には手書きで伝える方法と、パソコンで入力した文字をスクリーン等で伝える方法があります。

<手書き>



<パソコン>



### 中途失聴や難聴について

以前は聞こえていたが、その後何らかの原因で聴力を失った人を「中途失聴者」と言います。外見では障がいの有無がわからないうえ、自分で発語できる人も多いため、周囲から誤解され、適切な支援を受けにくい状況にあります。また、難聴者といわれる人たちは、全く聞こえない人から補聴器を使って何とか聞き取れる人まで、聞こえの度合いや状況は人それぞれで、難聴の種類は以下の3つに分類されます。

○伝音難聴…音（振動）を伝える「伝音系」の障がいによって起きる難聴です。

神経に障がいがないため、補聴器の効果が比較的得やすいのが特徴です。

○感音難聴…神経の障がい（感音系の障がい）により、小さい音が聞こえない、大きな音に対する抵抗力が低い（頭が痛くなる）、音を明瞭に聞き取れない、といった特徴があります。

○混合難聴…伝音系、感音系の両方に障がいのある難聴です。

中途失聴や難聴は、突発性難聴や老人性難聴に加え、鼓膜や聴神経などの障がいや事故、騒音など原因は人により様々です。中途失聴者や難聴者は、補聴器や人工内耳を装着して残存聴力を活かす方法や、筆談、要約筆記、口の動きなどのいろいろな視覚情報などを用いる方法などで意思の疎通を図っています。

～中途失聴・難聴者はこんなことに困っています～

- ・『私は耳が聞こえない』となかなか言えない。 ・字幕放映が少なく、テレビや映画が楽しめない。
- ・緊急放送や避難誘導、案内のアナウンスなどがわからない。
- ・救急車のサイレンが聞こえず、危うく救急車に接触しそうになった。

30分以上  
待っている  
のですが…



事故の為  
遅れております。  
代行バスをご利用  
ください。



### 子ども達に伝えたいこと

聞こえない人、聞こえにくい人には、たとえ手話が分からなくても書いて伝えることができます。「要約筆記」を通して、聴覚障がいのことや、聴覚に障がいのある人が暮らしていく中で工夫されていること、そして私たちにはできることがたくさんあることを知ってもらいたいと思います。



## 授業の流れ

### 聴覚障がいについて

聴覚障がいの基礎知識（耳の聞こえのしくみなど）や、中途失聴・難聴者が日々の生活でどのような不便を感じ、また、どのように工夫して生活しているのか学びます。（筆談ゲームなども実施）

### 要約筆記を知る

いろいろな要約筆記の方法を学習します。話しことばを書きことばにし、内容を速く、正しく、読みやすく伝えるための技術を学びます。

### 要約筆記の体験

ノートテイク体験として、話しことばを素早く文字で相手に伝える実習をします。体験を通じて、自分たちにもできることがあることを知ってほしいと思います。

## 団体紹介

### ① 新潟県中途失聴難聴者協会 新潟支部



【対応地域】 市内全域

【問い合わせ】 中川 FAX：025（276）3647

メール：yumiusa1007@yahoo.co.jp

【一言コメント】

中途失聴・難聴者特有の悩みを解消するため、定例会・交流会等の行事で交流や親睦を深めるとともに、福祉の増進に努力を重ねています。また、活動に賛同して下さる健聴者の方々との活動も行っています。

### ② 新潟要約筆記サークル



【対応地域】 市内全域

【問い合わせ】 前川 電話：025（260）6550

【一言コメント】

文字で伝える要約筆記を一緒にやってみませんか。毎月2回(木曜夜・土曜昼)総合福祉会館で学習会を開催しています。手書きもパソコンも男性も女性も分け隔てなく、一緒に切磋琢磨し、難聴者の皆さんとも交流を深めています。文字による支援が必要な方がいることを知り、支援の仕方について学びましょう。

### ③ 新津要約筆記サークル ゆうた



【対応地域】 市内全域

【問い合わせ】 渡部 電話：0250（23）1195

【一言コメント】

サークル設立は平成8年、活動は23年目に入ります。月2回新津健康センターで学習会を開催し、中学校の福祉体験学習にも毎年協力しています。会員数は現在10名ですが、力を出し合って活動しています。

### ④ 要約筆記サークル ゆうあい



【対応地域】 市内全域

【問い合わせ】 三保 電話：025（231）0389 ※FAX兼用

【一言コメント】

耳の不自由な方々に寄り添い、伝わる要約筆記を目指しています。小・中学生へのノートテイク支援にも力を入れています。

# 知的障がい

知的障がいとは、理解する、考える、読む、書く、計算するなど、生活や学習面で現れる知的な働きや発達が同年齢の人の平均と比べてゆっくりとしていることをいいます。

発語がなく、身の回りの全面的な支援が必要な最重度障がいの人から、職業生活をほぼ送れる軽度障がいの人まで、障がいの現れ方にはさまざまな違いがあります。

どんな重度の障がいの人でも、それぞれの障がい特性に合わせた教育・配慮と支援を受けながら、社会経験や学びを積むことにより社会参加しています。

## 知的障がいのある人に対する配慮・理解

知的障がいは、知的能力の程度により、また他の障がい（ダウン症や自閉症など）との合併障がいにより、ひとりひとりの障がいの状況が大きく異なります。共通していることは、知的能力と環境への見通しの弱さを要因とする障がい特性です。

### ○ 「社会生活への参加がしづらい」

### ○ 「コミュニケーション力が弱い」

…そのため、生活に必要な情報が得られなかったり、他人とトラブルになったり、困ったことが起きても自ら助けが求められなかったりします。

### ○ 「抽象的な概念や複雑なことは理解しにくい」

…そのため、ルールや約束事を理解できなかったり、見通しを立てることが苦手だったりします。

### ○ 「集中力が弱い」

…そのため、落ち着きがなかったり、人の話が聞けなかったりします。

### ○ 「自己コントロール力が弱い」

…そのため、我慢できないことや泣いてしまうことがあります。

### ○ 「状況を判断することが苦手」

…そのため、自分のことを決めることができなかったり、新しい環境や体験に混乱してとまどったり、パニックになることがあります。

### ○ 「読み書きや計算が苦手」

…そのため、いろいろな書類や説明書きが理解できない、お金の計算ができないなど、ご本人が生活を営む際に困ることがたくさんあります。

# 新潟市手をつなぐ育成会連絡協議会

(対応地域：市内全域)

障がいのある人もない人も

特性

違い

理解

認め合う

共に生きる まちづくり

自閉症疑似体験  
が出来ます！

パニック・こだわり  
なぜ？どう対応する？

自閉症の人はこんな風  
に見えるんだ！  
感じているんだ！

にいがた知的障がい啓発隊

正しい  
対応の  
仕方が  
分かります(^)

「ぶりっじ」

楽しい  
公演です♪

どこでも  
出張  
いたします

視覚障がい・・・白い杖  
聴覚障がい・・・補聴器  
身体障がい・・・車椅子  
知的障がい/発達障がい  
・・・ ?

知的障がい・発達障がいのためのワークショップは  
何だと思いませんか？一緒に考えていきましょう！

～ お問い合わせ ～

新潟市手をつなぐ育成会連絡協議会

TEL 025-250-1411 (新潟地区手をつなぐ育成会内)



# 精神障がい

## 主な特徴

精神障がいとは、精神疾患のため日常生活や社会生活がしづらくなることを言います。精神疾患は誰でもかかりうる病気で、強いストレスや生活環境の変化などが原因と考えられています。代表的な精神疾患としては「統合失調症」や「気分障がい」などがあります。

### ○ 統合失調症

脳（神経）の働きが活発になりすぎて、幻聴（他には聞こえていない声や音）や妄想（真実ではないことを信じ込むこと）が現れたり、その後、やる気が起きない、疲労感が強い状態になることがあります。

### ○ 気分障がい

“ゆううつな気分” “気持ちが重い”といった「うつ状態」がほぼ一日中あり、それが長い期間続くのが「うつ病」の症状です。気分が良くなりすぎる躁状態と極端なうつ状態が交互にあらわれるのが「双極性障がい（躁うつ病）」です。

## 精神障がいのある人に対する配慮・理解

外見からはわかりにくく、“怠けている”などと誤解を受けることもあります。周りの人たちが正しく理解し、支援することにより、社会参加できるようになります。本人の努力を認め、温かく見守るような配慮が大切です。

【MEMO】

# にいがた温もりの会

(対応地域：市内全域)

## 団体紹介

私たちは、精神障がいに関する知識の普及と、精神障がいのある方の自立と社会参加を促進するとともに、すべての人が安心して生活できる地域づくりに取り組んでいます。精神障がいのある方に日中活動の場の提供したり、誰でも参加できる地域に開いた茶話会を開催したりするなど、地域生活の困りごとを話せる機会を設けています。また、機関誌の発行や精神障がいの理解普及のための研修会を開催するなど、ご本人を取り巻く家族の支援や支援者のネットワークづくりにも取り組んでいます。



活動の様子

### 【地域活動支援センター温もりハウス】

精神障がいのある人が日中活動を過ごす施設です。個々の個性に応じて、調理実習等で生活スキルの向上を図ったり、ヨガ教室の開催により心身機能低下防止などに取り組んだりしています。家庭的な雰囲気の中、毎日楽しく活動しています。ぜひ一度、施設見学にお越しください。

■ 施設見学可能人数 : 5人

■ 参加可能なイベント：ヨガ教室（毎週金曜10時30分～11時15分）

…ヨガ講師を招いて45分間の講習を行います。どなたでも参加できますのでぜひお越しください。

(ヨガマット貸出可・参加費200円)

## 授業の流れ (授業時間の目安：45分)

### ①精神障がいの理解

多様な症状と経過について、事例を交えてご紹介します。

### ②困りごとに対する取り組み

私たちが日頃困っていることに対し、どんな風に対処や工夫をしているかをご紹介します。

### ③こんな配慮があると助かります

地域や学校の中で「こんな配慮があると助かる」という例を紹介しながら、合理的配慮の考え方についてご紹介します。

### ④精神障がいのある方との交流

## 子ども達に伝えたいこと

だれもがいつ、障がい者になるかわかりません。人として、みな同じです。困っている時は、助け合いましょう。

**問い合わせ先** にいがた温もりの会

〒950-0088 新潟市中央区万代4丁目9-6 越路ビル2F

TEL 025-383-8664 FAX 025-383-8850

H P <http://www.geocities.jp/niigatanukumorinokai/>

# 肢体不自由

## 主な特徴

肢体不自由とは、手や足、体の胴の部分に障がいがあることを言います。その原因としては、病気や交通事故やスポーツ事故による手足の損傷、腰や首、脳の血管等への損傷、関節等の変形などがあります。

## このような配慮があると助かります

- 座席に座れず、立っているのがつらい場合があります。  
「席をお譲りしましょうか？」と声をかけてみましょう。



- バイキング形式の場合、お皿を持ったまま移動するのが困難です。  
付き添って代わりに料理を取ったり、キャスター付きのワゴンなどを用意したりしてみましょう。

- 通路に十分な幅がなく通りづらかったり、位置が高かったり、重かったりすると、商品を取りづらいことがあります。  
通路には物を置かないようにし、車いすでも店内を移動しやすいような通路が確保しましょう。また「お取りしましょうか」と声をかけ、支援を申し出てみましょう。



## 豆知識

## 知っていますか？「おもいやり駐車場制度」

障がいのある人や高齢者、妊産婦の方など、歩行が困難な方の外出を支援することを目的として、公共施設や商業施設などに「おもいやり駐車場」を設置するとともに、利用するには「おもいやり駐車場」の利用証を交付する制度です。現在では多くの施設で整備されるようになりましたが、利用対象外の方が駐車し、本来必要としている方々の利用ができない場合があります。ルールを守り、適正に利用することが求められます。





# 新潟市身体障害者福祉協会連合会

(対応地域：市内全域)

## 団体紹介

新潟市身体障害者福祉協会連合会（通称：身障連）は平成19年に創設された組織で、市内に約1,300名の会員がいます。各区に支部があり、会員同士連携を取り合いながら活動しています。日常生活の困りごとの解消や地域における自立した社会生活の実現、福祉の充実や社会的地位の向上に努めることを目的に活動しており、身体障がいに関する様々な団体が加盟しています。

(加盟団体)

- ・新潟市視覚障害者福祉協会
- ・新潟市ろうあ協会
- ・新潟県中途失聴難聴者協会新潟支部 など

## 子ども達に伝えたいこと

子ども達には、我々が日常生活の中でどのような事に困っているのかを知ってもらいたいと思います。障がいのある人の目線で考えてみると、街中には障がいのある人の社会参加を阻むような状況が多くあることに気づくと思います。エレベーターやスロープを設置するといったハード面の整備も必要ですが、困っている人がいたら積極的に声をかける、障がいについて正しく理解するといった「こころのバリアフリー」が何よりも大事ということに気付いてもらいたいと思います。

### 問い合わせ先

新潟市身体障害者福祉協会連合会（問合せ可能時間：月～金 10:00～15:00）

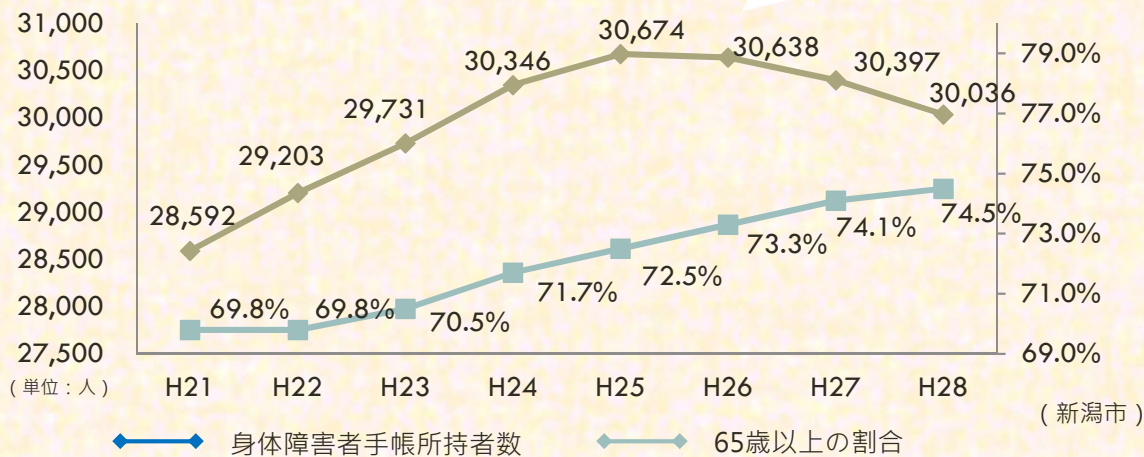
〒950-0909 新潟市中央区八千代1-3-1 新潟市総合福祉会館内

TEL：025-246-1333 FAX：025-246-1333

豆知識

### 数字でみる身体障がい者の推移

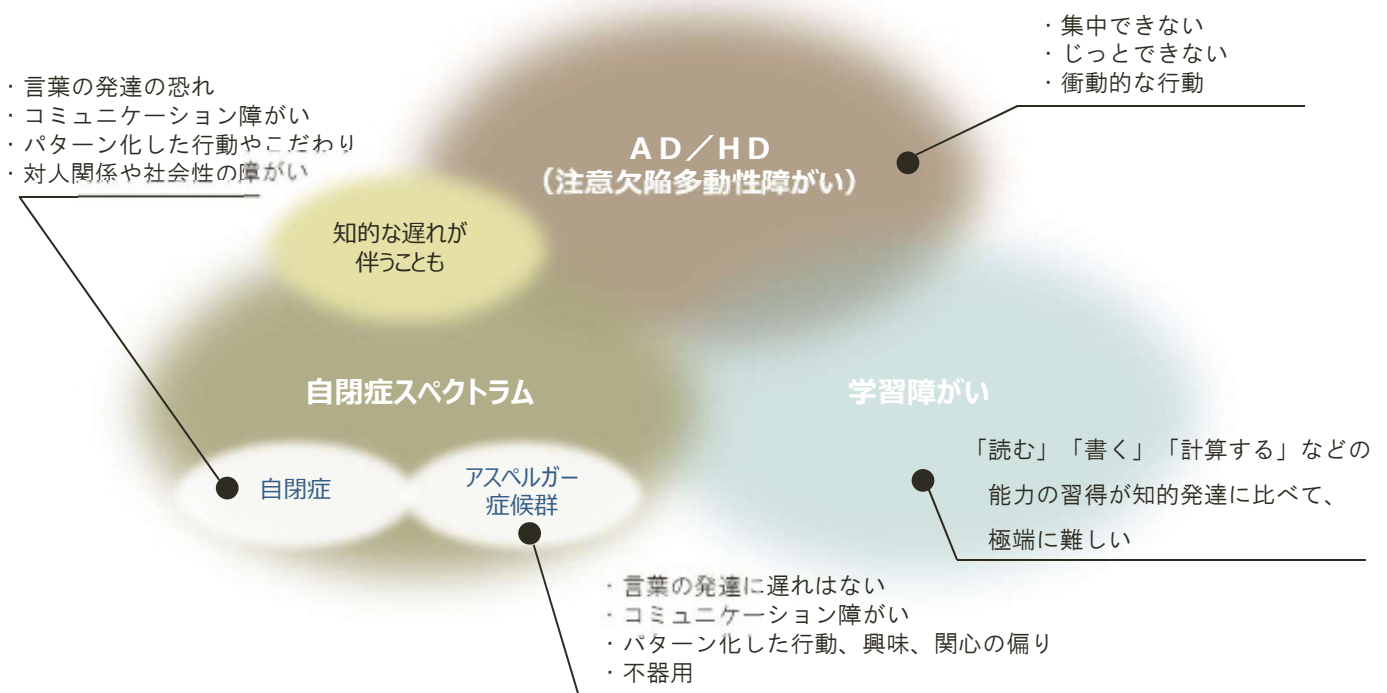
手帳所持者数は、平成25年度を境に減少に転じています。65歳以上の高齢者が70%を占めており、徐々に高齢化が進んでいます。



# 発達障がい

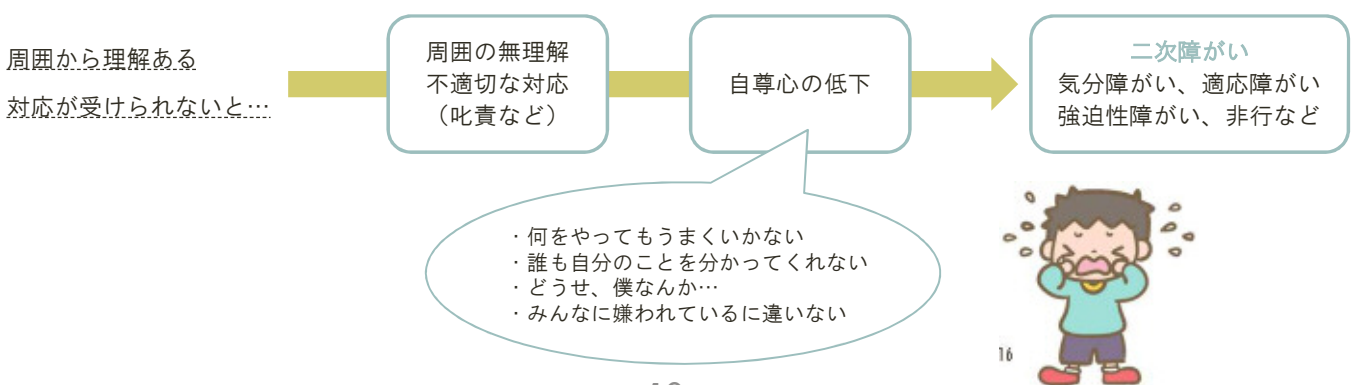
## 主な特徴

発達障がいの特性は、だれもがもっている特性です。文部科学省が実施した調査では「小・中学校の通常の学級において、学習面又は行動面において著しい困難を示す児童生徒の割合が約6.5%」と推測されています。発達障がいは、脳の中樞神経（脳と脊髄）に何らかの機能障がいがあると考えられており、親の育て方によるものでもなく、本人の努力不足でもありません。周囲の理解ある対応が大切となります。



## 発達障がいのある子どもが安定した生活を送るには、周りの理解ある対応が大切

発達障がいは「見え方」「聞こえ方」「言葉の受け止め方」「物の捉え方」「感じ方」などの違いがあることで“できて当たり前”のことがうまくできず、大きくつまづいてしまうことがあります。障がいの程度は一人ひとり異なります。周囲がさりげないサポートをできるよう、その人のことをよく知ることが大切です。



認定NPO法人

# にいがた・オーティズム

(対応地域：市内全域)

## 団体紹介

新潟県新潟市を中心に、自閉症児・者とその家族、関係者及び地域社会に対して「自閉症に関する適切な療育」と「正しい知識の啓発」及び「地域生活を支援する事業」等を行い、それにより自閉症児・者の人権擁護及び教育と福祉の充実に寄与することを目的とした特定非営利活動団体です。

現在、発達障害のある青年期・成人期の方々の就労を支援する「ワーキングサポートセンタースタンバイ」と地域活動支援センター「エール」を運営しています。



## 授業の流れ (授業時間の目安：45～60分)

### 教材DVDの視聴

一般社団法人日本自閉症協会が作成したDVD「自閉症のこどもたち」の視聴(30分)

### 「逆さバイバイ」とは

「逆さバイバイ」の説明(見えたままって、どんな世界かな?)

### 逆さ質問タイム!

「みんななら、どうするの?」みんなで考えてみましょう。

## こども達に伝えたいこと

ピョンピョン飛んだり、不思議な行動をしていたり、お話は流ちょうにできるのだけれど、おともだちと会話が続かなくて、仲良く遊ぶことが苦手だったりするお友だちが周りにいますか。

自分勝手なことをしたり言ったりしているように見えちゃうけれど、実は、この世の中のお約束がよくわからなかったりします。たとえば、「ちょっと、待って」の「ちょっと」がわからなかったり、「あと少し」が待てなかったりします。あいまいなことがわからなくて言葉の迷子だったりします。

そんなときは、「あと〇分待ってね」とか「〇〇して待とうね」って、どうしたらいいのかをおしえてあげてほしいのです。消えてなくなることば(声)より、紙に文字や絵で書いてもらった方が、もっとわかりやすい子もたくさんいます。

### 問い合わせ先

認定NPO法人にいがた・オーティズム

〒950-0922 新潟市中央区山二ツ3-11-12

TEL : 025-250-7365 FAX : 025-250-7360 メール : office@niigata-autism.jp



# 新潟県障害者スポーツ協会

(対応地域：市内全域)

## 団体紹介

新潟県障害者スポーツ協会は、平成11年11月に県内の障がい者スポーツ活動の普及、全国・国際レベルの大会で活動する選手及び団体等の支援を目的に設立されました。現在は、県内各地における障がいのある方を対象としたスポーツ教室・各種競技大会の開催や、障がいのある人たちが生涯を通して身近な地域で気軽にスポーツ活動に参加できるための支援を、各地域のスポーツ関係者や福祉関係者等との協働により行っています。また、障がい者スポーツを通じて障がいのある方への理解促進を図るため、地域や学校、施設等のニーズに沿って様々なスポーツを取り入れた教室も実施しています。

## 障がい者スポーツの紹介 (実施内容や時間は要相談)

### フライングディスク



フライングディスクは、プラスチック製の円盤を投げるスポーツです。2つの種目があり、距離を競う「ディスタンス」と正確性を競う「アキュラシー」があります。

障がいの種別を問わず、気軽に取り組むことができるスポーツです。

### ボッチャ



ボッチャは、重度脳性麻痺者・四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツです。ジャックボール（目標玉）と呼ばれる白いボールに、赤・青のボールをいかに近づけるかを競います。手で

投げるができない選手はキック、あるいは競技アシスタントのサポートを受けながら、「ランプ」と呼ばれる投球補助具（勾配具）を使ってボールを転がします。

### カローリング



カローリングは、氷上で行うカーリングを体育館等のフロアで手軽に楽しめるよう考えられたスポーツです。底に3つの車輪がついている「ジェットロー

ラー」という円盤をコート端にあるポイントゾーンの中心から最も近い位置に近づけたチームが勝ちとなります。

### ふうせんバレー



ふうせんバレーは、障がいのある人も一緒にできるスポーツがあったらいいと考案されたスポーツです。障がいのある人とない人がチームを組み、チーム全員が風船に触れて相手コートに返すという全員参加型の競技です。

**問い合わせ先** 新潟県障害者スポーツ協会

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽1-9-1 新潟県ふれ愛プラザ内

TEL : 025-383-3610 FAX : 025-381-1478 メール : sports@n-fureaiplaza.com

# スペシャルオリンピックス日本・新潟

【通称：SO（エスオー）】

（対応地域：市内全域）

## 団体紹介

知的障がいのある人にスポーツトレーニングや競技会の場を提供している団体です。1962年に故ケネディ大統領の妹、ユニス・ケネディ・シュライバー夫人が、自宅の庭を開放して開いたデイキャンプが、スペシャルオリンピックスの始まりです。この活動に参加する知的障がいのある人を「アスリート」と呼び、バスケットボール、ボウリング、卓球、陸上競技、サッカー、フロアホッケーなど日常的なスポーツプログラムを実施しています。



**ボランティア**

SOの活動は多くのボランティアに支えられています



**ユニファイドスポーツ**

障がいのある人とない人が一緒に取り組む



**学校教育連携プログラム**

「人権教育」「福祉教育」など学校教育におけるSOの活用

## 授業の流れ（時間の目安：要相談）

### SO紹介映像の視聴

スペシャルオリンピックスの活動をわかりやすくまとめた動画で概略を理解してもらい、知的障がいのある人への理解を深めます。

### フロアホッケーの体験

スペシャルオリンピックスの競技の一つであるフロアホッケーを体験します。こどもでも気軽に体験できるスポーツです。

### アスリートとの交流

アスリートとチームを組んで、一緒にフロアホッケーを行います。スポーツを通じて知的障がいのある人と交流し、お互いを知り、理解を深めます。

## こども達に伝えたいこと

スペシャルオリンピックスに参加した多くのボランティアが「アスリートを支えようと思って参加したけれど知的障がいというハンディキャップのあるアスリートが、自分の力を最大限に発揮しようと一生懸命に頑張っている姿を見て、逆に勇気をもらいました」と感想を述べています。多くのこども達にスペシャルオリンピックス、アスリート、ボランティアのことを知ってもらい、活動に参加して欲しいと思います。

**問い合わせ先** スペシャルオリンピックス日本・新潟事務局

〒950-2044 新潟市西区坂井砂山4-22-19

TEL : 025-378-0171 FAX : 025-378-0172 HP : <http://son>





# 新潟県ブラインドサッカー協会

(対応地域：市内全域)

## ブラインドサッカーとは？

ブラインドサッカーは、視覚に障がいのある方々でも楽しめるようにルールが考案されたサッカーで、フィールドプレイヤーはアイマスクを装着し、転がるボールから出る音や、まわりの声を頼りにゴールを奪い合います。



転がると音の出るボール  
フットサルボールと同じ大きさ。  
転がると音の出る特別なボールを使用。視覚障がいの選手たちもボールの位置や転がりわかります。



## 授業の流れ (授業時間の目安：90分)

参加者にアイマスクを装着してもらい、あえてハンディをつけた（見えない）状態で課題を提示します。視界が遮られるだけで世界が違うように感じられ、出来ないことも多くなります。目が見えないという事が想像以上に大変で、自分たちが普段いかに視覚情報に頼って生活しているかという事も実感できます。

そして、その課題をクリアするために仲間と試行錯誤するうちに、チームワークやコミュニケーションの重要性など、多くの「気づき」を得ることができます。



## 子ども達に伝えたいこと

「人間は80%の情報を視覚から得ている」と言われています。それが遮断された時こそ、見えてくるものがあります。相手がどの距離にいて、どんな状態であるか分からないからこそ、ひとつひとつのコミュニケーションに注意し、相手を思いやる必要があります。ブラインドサッカーの体験を通じて、子ども達には「自分は何ができるのか」「障がい者＝特別ではなく、個性の一つだと捉えること」「積極的に人の力になろうとする姿勢」を学んでほしいと思います。

※ブラインドサッカーの実施を希望される学校は、  
市障がい福祉課までご連絡ください。





# 車いすバスケットボール

(対応地域：市内全域)

## 車いすバスケットとは？

車いすバスケットのルールはおおむね一般のバスケットボール競技と同じで、試合は1ピリオド10分の4ピリオド制、コートの大さやスリーポイントライン、フリースローラインの位置、ゴールのリングの高さ(3.05m)は通常のバスケットと同じです。ひとつの大きな違いは、車いすバスケットは展開の速さを重視するためにダブルドリブルがないルールとなっていることです。また、ボールを保持して2回以上車いすをプッシュすると一般のバスケットボールと同じトラベリングとなります。プレーする選手は、障がいの程度に応じた持ち点があり、障がいの重さにより、クラス分けされます。コートに立つ5人の選手の持ち点の合計を14点以内にする必要があります。これによって障がいの重い選手も軽い選手も等しく試合に出場でき、誰もが楽しめるルールとなっています。最近では、障がいのない方も試合に出場できるようにルールが変更され、障がいの有無に関わらず、同じコートでたたくことができるようになりました。

車いすバスケットボール選手のクラス分け

持ち点	障がいの程度	選手の体の主な動き
1.0 または 1.5	重い	腹筋、背筋が機能せず、座位での体のバランスをとることができない
2.0 または 2.5	やや重い	腹筋、背筋がある程度機能しており、前傾の姿勢がとれる
3.0 または 3.5	やや軽い	下肢にわずかな筋力があり、深い前傾姿勢から早く上体を起こすことができる
4.0 または 4.5	軽い	両手を上げて、片方向に(4.5は両方向に)車いすを大きく傾けることができる

## 授業の流れ (実施内容や時間は相談のうえ決定します)

### 車いすの操作方法

車いすバスケットで使用する車いすは、一般の車いすと形や操作方法が違います。簡単な操作方法を学んだ後、実際に競技用の車いすに乗って8の字でジグザグに走ってみることを体験します。

### ボールを使って体験

ボールを使って、パス・ドリブルを体験します。ボールと車いすの両方を同時に扱うにはコツがいります。最後はシュート練習。車いすに座るとゴールは普段の2倍は高く見えます。腕の力だけでなく、体全体を使うことがポイントです。



バンパーがあり、これにより脚が保護され、他の車いすに引っかからないようになる。

## 子ども達に伝えたいこと



新潟県選抜  
車いすバスケットボール  
キャプテン 松永啓一

私は26歳の時に、仕事で高さ10mの足場から転落して胸椎を脊椎損傷し車椅子の生活になりました。ケガをして車いすの生活になると病院の先生から聞かされた時は、生きる気力もなく何もせずただ毎日が過ぎていました。とある日、車いすの業者さんが車いすバスケットボールの試合に連れて行ってくれました。初めて見た車いすバスケットボールに衝撃を受けました。障がいを負っているとは思えない動きや元気の良さに感動し、車椅子バスケットを始めました。車椅子バスケットをやるためには筋力や車椅子操作が必要で、毎日毎日練習に励み、諦めずに努力して、今現在も楽しくバスケットをやっています。また、人と人の繋がりも学ぶ事ができ、車椅子バスケットに出会えて良かったと思っています。

長い人生の中で大きな壁にぶつかる事はあると思います。しかし、その壁をピンチと思わずチャンスだと思って下さい。そして、努力は必ず報われると信じ、皆さんも自分の夢に向かって頑張ってください。

※車いすバスケットボールの実施を希望される学校は、障がい福祉課までご連絡ください。

# まちごと美術館「cotocoto」

(対応地域：市内全域)

## まちごと美術館「cotocoto (ことこと)」とは？

障がい者アートの魅力を多くの人に知ってもらうため、障がいのある人のアート作品を企業や店舗などにレンタルし、レンタル料金の一部を作者に還元することで、障がいのある人と社会、人と人との関係を結び、夢の持てる社会づくりに取り組んでいます。

現在では新潟市内を中心に、飲食店や医院など約50か所で展示されています。



〈 作品例 〉



## 授業の流れ (授業時間の目安：要相談)

### 課題図書を使って

課題図書を使って、地域には多様な人たちがいることを学びます。



### アート作品にふれる

実際に障がいのある人が描いた作品をみて、絵の迫力、細やかさ、魅力に触れます。障がい者アートを通じて、障がいのある人への理解を深めます。

番外編

### 施設見学

作家さんが通っている施設を訪問し、どのように作品を描いているのか実際に見学します。



## 子ども達に伝えたいこと

子ども達には、障がい者アートをただ見て終わるのではなく、そこから何かを感じ取ってもらいたいと思っています。ある学校では「障がいアートの魅力をより多くの人に知ってもらいたい」と、子ども達がアート作品を説明する“キャプション”づくりを行ったり、地域や行政を巻き込んで“障がい者アート美術館”を開催したりしました。障がい者アートを通じ、子ども達と一緒に、誰もが暮らしやすい共生のまちづくりを進めたいと思っています。

**問い合わせ先** まちごと美術館「ことこと」【事務局(株)バウハウス内】

〒950-0982 新潟市中央区堀之内南1丁目32-16 3F

TEL : 025-248-1960 HP : <http://cotocoto-museum.com/>





# アートキャンプ新潟

(対応地域：市内全域)

## 団体紹介

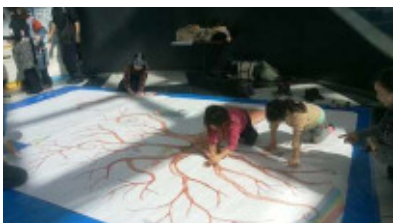
アートキャンプ新潟では障がいのある人の「表現活動をする場」や「作品の展示・販売をする機会」を提供しています。それらの活動を通して、障がいのある方が社会参加できる仕組みを作っていきます。



## 授業の流れ (実施内容や時間は相談のうえ決定します)

### 講師紹介

創作活動をしている障がいのある人が講師を担当します。これから一緒に活動する講師のこと、作品のことを紹介します。



### 共同制作

講師と子どもたちと一緒に作品を作ります。大きな紙に絵を描く、ダンボールを使った作品を作るなどの創作活動を共にすることで、障がいのある人と共に過ごす体験をします。

(←共同制作の様子)

### 感想タイム

講師と子どもたちが互いに共同制作の感想を話し合います。子どもたち1人1人がこの体験を通じて感じたことを振り返り、多様な感じ方を共有することで、それぞれの学びを深めます。

## 子ども達に伝えたいこと

日常生活で障がいのある人と子どもたちが接する機会はあまり多くありません。しかし、本当は遠い世界の人たちではなく、私たちのすぐ近くにおいて生活しています。そして、一緒に創作活動を楽しむこともできます。子どもたちがこの体験をきっかけに、障がいがある人もない人も当たり前と一緒に生きていける未来を作っていく担い手になってくれることを願っています。

### 問い合わせ先

NPO法人アートキャンプ新潟

〒950-0025 新潟市東区藤見町1-11-12

TEL : 025-290-7325 FAX : 025-290-7324

アートキャンプ新潟  
ARTCAMP NIIGATA



# 新潟市社会福祉協議会

(対応地域：市内全域)

## 社会福祉協議会では、福祉教育を進めています！

新潟市社会福祉協議会では、地域や学校で「福祉＝ふだんのくらしのしあわせ」を学ぶ福祉教育に取り組んでいます。車いすやアイマスク等の疑似体験だけでなく、障がいのある方と直接お話ししたり、交流を通しての学びの中で、障がいの有無に関わらず、みんなが同じように自分らしく生きている大切な存在であることや「ともに生きること」について伝えたいと考えています。

担当の先生と打ち合わせをさせていただき、一緒により良いプログラムを考えていきますので、各区社会福祉協議会にご相談ください。

### <社会福祉協議会にできること>

例えば…

- 福祉教育のプログラム企画
- 地域のゲストティーチャー※の調整 ※障がい当事者、ボランティア活動者など
- 社会福祉協議会職員の派遣
- 福祉施設等での活動・訪問などの調整



## 相談から実施・ふりかえりまでの流れ

### 1 まずは各区の社会福祉協議会にご相談ください

急なご依頼への対応は難しいので、実施日1～2か月ほど前からご相談ください。間際でのご相談になりますと、十分な準備が行なえないおそれがあります。

### 2 授業計画・企画の検討（校内）

詳細な計画・企画でなくても大丈夫です。「こんなことができないか？」というアイデアや参加人数など、ある程度まで決めておきましょう。先生のアイデアを実現できるようサポートします。

### 3 学校担当者と社会福祉協議会担当で打ち合わせ

社会福祉協議会の担当者から計画・企画の具体案をご説明します。スケジュール、経費、協力関係者（講師・ボランティアなど）の紹介、調整、備品の手配などの点を確認します。

### 4 総合学習（福祉教育）を実施

実施日には講師や社会福祉協議会職員がお伺いします。

### 5 ふりかえり

感想文や話し合いの時間などを通して、学習のねらいに沿い、児童・生徒の気づきを確認します。その気づきを通して、自分たちで何ができるかを考えます。社会福祉協議会の担当者も交えてふりかえりの時間をとりましょう。効果的なふりかえりのためのお手伝いをします。

## 各区社会福祉協議会（ボランティア・市民活動センター）の連絡先

区	所在地	連絡先
北	〒950-3323 北区東栄町1-1-35 豊栄さわやか老人福祉センター内	TEL：025-386-2810 FAX：025-388-2914 E-mail：v-kitaku@syakyo-niigatacity.or.jp
東	〒950-0885 東区下木戸1-4-1 東区役所1階	TEL：025-272-7731 FAX：025-272-1756 E-mail：volunteer-center.e@syakyo-niigatacity.or.jp
中央	〒951-8062 中央区西堀前通6-909 Co-C. G.（コシジ）3階	古町ボランティア・市民活動センター TEL：025-210-8730 FAX：025-210-8722 E-mail：va-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp
	〒950-0909 中央区八千代1-3-1 新潟市総合福祉会館1階	万代ボランティア・市民活動センター TEL：025-243-4379 FAX：025-248-7180 E-mail：vas-chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp
江南	〒950-0155 江南区泉町3-3-3 江南区福祉センター（きらとぴあ）内	TEL：025-250-7743 FAX：025-250-7761 E-mail：v-kounanku@syakyo-niigatacity.or.jp
秋葉	〒956-0864 秋葉区新津本町1-2-39 新津地域交流センター2階	TEL：0250-24-8345 FAX：0250-23-3322 E-mail：vsc-akiha@syakyo-niigatacity.or.jp
南	〒950-1214 南区上下諏訪木817-1	TEL：025-373-3223 FAX：025-373-6125 E-mail：vorasen@shakyominami.ecnet.jp
西	〒950-2054 西区寺尾東3-14-41 西区役所健康センター棟1階	TEL：025-211-1630 FAX：025-211-1631 E-mail：volunteer-center.w@syakyo-niigatacity.or.jp
西蒲	〒953-0041 西蒲区巻甲4363 巻ふれあい福祉センター内	TEL：0256-73-3565 FAX：0256-73-4914 E-mail：volunteer-center.nsk@syakyo-niigatacity.or.jp

### マイナスイメージで終わらない福祉教育に

障がいのある人の一番困っている場面や大変なことのみを切り取ってみせるのではなく、障がいのある人もない人も「得意なこと」「苦手なこと」があることや、普段の生活の「同じところ」「違うところ」について、こどもたちに気づいてほしいと思います。

### 主体的に考える気持ちを

福祉教育とは「ともに生きる力を育む」こと。そのために“自分たちのための福祉（自分ごと）”として考えていく気持ち、共感できる豊かな心、たすけあい・支え合いの心を伝えていきます。



 {中央区}

**【住所】**  
新潟市中央区  
関屋大川前1-2-28

**【開所日】**  
月～金  
9:00～16:00

**【電話】**  
025-265-5900

**【FAX】**  
025-265-5960

**【ホームページ】**  
<http://www.shinano-niigata.sakura.ne.jp/>

# あ ど ば ん す

施設見学可

受入可能人数 20人程度

## 施設紹介

主に精神障がいの方が利用している就労支援施設です。作業活動（焼き菓子の製造販売、喫茶店の調理接客、お弁当の調理配達、清掃、創作活動 など）を通して、働く力を身につけています。

喫茶店では、私たちの自慢の商品が勢ぞろい。まずは、お茶を飲みに行っちゃいませんか？素敵なメンバー（利用者）たちがお迎えます。ご相談に応じて、当事者の方から体験談をお話していただくことも可能です。



施設外観写真

## 参加可能なイベント

### ●法人夏まつり

【開催日時】8月 【開催場所】当施設  
【対象】どなたでも 【参加費】無料  
【内容】模擬店、芸能発表、体験コーナーなど

### ●もちつき大会

【開催日時】1月 【開催場所】当施設  
【対象】どなたでも 【参加費】無料  
【内容】もちつき、芸能発表など つきたてのお餅とお汁を無料で提供



喫茶店の様子

 {中央区}

**【住所】**  
新潟市中央区  
西堀通6番町878-1  
西堀7番館ビル4階

**【開所日】**  
月・火・金  
10:00～16:00  
水・木  
10:00～13:00

**【電話】**  
025-226-7588

**【FAX】**  
025-226-7589

**【ホームページ】**  
<http://www.isfnetwork.com/>

# 株式会社 アイエスエフネットライフ新潟

施設見学可

受入可能人数 10人程度

## 施設紹介

社会性や、心と体の体力バランスの習得、ビジネスマナーやパソコン、手作業等のスキルの訓練を行っています。利用者の希望やニーズを尊重し、ご本人だけではなくご家族、企業等関係機関と情報を共有しながら就労を目指して活動しています。

関係者だけではなく、多くの方に取り組みを知っていただき、就労への機会を増やしていきたいと思っています。

## 参加可能なイベント

### ●ご家族と語る会

【開催日時】毎月1回 【開催場所】当施設 ※実施日時はお問い合わせください  
【対象】どなたでも 【定員】20名程度 【参加費】無料  
【内容】事業所の取組み説明、意見交換、表彰



施設外観写真



施設内写真





{中央区}

【住所】

新潟市中央区  
稲荷町3490

【開所日】

月～金  
8:30～16:00

【電話】

025-224-4438

【FAX】

025-224-4438

【ホームページ】

<http://park6.wakwak.com/~shiroyama/>

施設見学可

受入可能人数 5人程度

# し ろ や ま

## 施設紹介

「障がいがあっても働きたい」「仲間が欲しい」そんな願いを実現する為に、昭和53年に中央区で「しろやま作業所」として開設しました。40年に及ぶ十日町産のそばがら枕作りから始まり、請負作業（封筒作り・タオル折り等）やりサイクル活動（廃品活動等）、製菓作り（クッキー・和菓子等）等の取り組みを利用者と一緒に行ってきました。下町の人情味あふれる場所に是非遊びに来て下さい。天気の良い日には近くの湊稲荷神社やみなとびあのお散歩もでき、とても気持ち良いです。また、昔からの伝統のそばがら枕は自信を持ってお勧め出来ます！

## 参加可能なイベント

### ●授産品の販売活動

【開催日時】 毎月2回金曜 【開催場所】 新潟市総合福祉会館  
【対象】 どなたでも 【参加費】 無料  
【内容】 授産製品の販売お手伝い。利用者と一緒に自主製品を販売し、みんなのお給料アップを目指す。



施設外観写真

### ●アート活動のお手伝い

【開催日時】 平日 【開催場所】 当施設  
【対象】 どなたでも 【定員】 5人程度 【参加費】 無料  
【内容】 本町灯ろう祭りの灯ろうの絵や展覧会用の絵を一緒に描く。



活動の様子



{中央区}

【住所】

新潟市中央区  
下大川前通4の町  
2230

【開所日】

火～土  
9:30～16:00

【電話】

025-225-2008

【FAX】

025-225-2008

施設見学可

受入可能人数 5人程度

# 焙 煎 コ ー ヒ ー 温

## 施設紹介

「心の病を持ちながらも地域で働き当たり前に暮らしたい」と願う人達が、気持ちを寄せ合ってコーヒーを販売しています。生豆の緑色が、焙煎後にコーヒーブラウンやチョコレート色になる変化を見るのは楽しい作業です。ブレンドも3種類あり、違いが楽しめます。クロスバル1階の喫茶店にぜひお立ち寄り下さい。

## 参加可能なイベント

### ●喫茶運営のお手伝い（ボランティア）

【開催日時】 毎週火曜～日曜日（月曜休）11時～16時のうち2時間程  
【開催場所】 Café温（クロスバルにいがた1階） 【対象】 18歳以上  
【定員】 毎日1人ずつ 【参加費】 無料  
【内容】 他のボランティアさんと喫茶業務の補助



喫茶店「Café温」の写真



**【住所】**  
新潟市中央区  
水道町1-5932-621

**【開所日】**  
月～金  
9:00～16:00

**【電話】**  
025-231-6177

**【FAX】**  
025-231-2560

新潟市立

## 明 生 園

施設見学可

受入可能人数 20人程度

### 施設紹介

知的障がいのある方が日中活動を過ごす施設です。利用される方ひとりひとりの個性、特性を大切にして、日中生活の支援をさせていただきます。ゆったりとした時間の中で、明るく楽しく充実した日中生活を送っていただけるよう、作業（さをり織り、ビーズ制作、空き缶つぶし、再生封筒作りなど）や文化活動（レクリエーション、ミュージックケア、創作、喫茶、カラオケなど）、行事（ハイキング、夕暮れを楽しむ会、体験旅行、作品展示会、クリスマス会など）などの活動を提供しています。

### 参加可能なイベント

#### ●あおぞらフェスティバル

【開催日時】11月3日（文化の日） 【開催場所】当施設

【対象】どなたでも 【参加費】無料

【内容】利用者の作品展示、アトラクション、バザー



**【住所】**  
新潟市中央区  
水道町1-5932-621

**【開所日】**  
月～金  
9:00～17:00  
土  
9:00～12:00

**【電話】**  
025-231-6210

**【FAX】**  
025-231-6210

新潟市

## めいせいデイサポートセンター

施設見学可

受入可能人数 若干名

### 施設紹介

新潟市内に在住する障がいのある方に、当施設が提供するいろいろなサービスをご自分で選択したうえで利用していただいています。他の利用者と関わりをもち、社会との交流や様々な経験を通して充実した一日を過ごしていただくことを目的としています。



### 参加可能なイベント

#### ●〇〇を楽しむ会

【開催日時】毎月 【開催場所】当施設 【参加費】無料

【内容】フラダンス、カラオケ、書道、絵手紙、レクダンス、ヨガ、バイオリン、茶道、手品、ジャズピアノ、ボクササイズ、歌と体操を一流講師の指導のもと、利用者や地域の方々などと一緒に楽しみます。（※実施日時など詳しい内容はお問い合わせください。）

#### ●餅つき大会

【開催日時】11月最終土曜日 【開催場所】当施設 【参加費】無料

【内容】利用者や家族、地域の方々などと一緒に餅つきをし、お餅を食べて交流を深めます。

#### ●あおぞらフェスティバル

（※明生園と同じ。）



**{秋葉区}**

【住所】  
新潟市秋葉区  
七日町2530-4

【開所日】  
月～金  
9:00～16:00

【電話】  
0250-23-7712

【FAX】  
0250-23-7713

【ホームページ】  
shinwa-fukushi.jp

## 社会福祉法人親和福祉会 けやき福祉園

施設見学可

受入可能人数 20人程度

### 施設紹介

新潟市秋葉区七日町にあるけやき福祉園です。誰もが生まれ育った地域で、その人らしい豊かな生活ができるよう、自立と社会参加を目指しています。障がい福祉サービス多機能事業所として「就労継続支援B型事業」「生活介護事業」のサービス提供を行っています。地域の社会資源と連携して「はたらく」「たのしむ」「くらす」「ささえあう」の4つの視点からサービス提供を行っています。

### 参加可能なイベント

#### ●グリーン・デ・フェスタ

【開催日時】（※平成30年は9月15日に実施しました。）

【開催場所】新津地区グリーンセンター

【対象】どなたでも 【参加費】無料

【内容】「子どもから大人まで楽しめるコミュニティイベント」

をコンセプトに、以下の取り組みを実施。

- ・夕暮れにしっとりあう音楽演奏
- ・誰でも参加できるゲームイベント
- ・各出店業者によるフードコート
- ・お楽しみ大抽選会



「グリーン・デ・フェスタ」の様子

**{秋葉区}**

【住所】  
新潟市秋葉区  
小向1744番地

【開所日】  
月～金  
9:00～16:00

【電話】  
0250-38-3015

【FAX】  
0250-47-6003

【ホームページ】  
http://www.shirahasu.com

## ワークセンターほほえみ

施設見学可

受入可能人数 5人程度

### 施設紹介

ワークセンターほほえみでは、1年を通して施設外就労や内職作業に取り組んでおり、清掃技術の向上と、得意な作業を見つけられるように日々頑張っています。古紙やアルミ缶の回収もしています。雨の日も雪の日も、地域に出かけ資源を集めます。

利用者の方それぞれがほほえみでの役割を獲得することで、充実した時間が過ごせることが私達支援員の願いです。また、地域と交流することを通して自分の居場所を確認する手立てにしていきたいです。

### 参加可能なイベント

#### ●夏の小向こどもまつり

【開催日時】8月 【開催場所】当施設 【対象】どなたでも・80名 【参加費】500円程度

【内容】ワークセンターほほえみと小向こども会共催の夏まつり。

#### ●学校の授業として特別支援学級の作業体験

【開催日時】通年 【開催場所】当施設 【対象】どなたでも・3名 【参加費】無料


【内容】ワークセンターほほえみでの作業体験。

#### ●小須戸縞を織る

【開催日時】要予約 【開催場所】当施設 【対象】興味のある方・縫製ができる方

【参加費】材料費 【内容】ワークセンターほほえみの建物は、新潟市の所有「きずなの家」として地域の活動の場になっています。小須戸縞を織り続ける活動は始まったばかりです。



 {西区}

【住所】  
新潟市西区  
小見郷屋107-2

【電話】  
025-262-0155

【FAX】  
025-261-5757

【ホームページ】  
<http://www.nmf.jp/>

## 社会福祉法人 新潟みずほ福祉会

施設見学可

受入可能人数 30人程度

### 施設紹介

新潟県の重点施策であった「ミニコロニー構想」実現に向けて、昭和50年9月に設立されました。以来、障害者支援施設を中心に、日中活動事業をはじめ、相談事業、グループホームの運営や居宅介護・移動支援事業等「障がいのある人も安心して地域で暮らせる社会作り」を積極的に推進し、社会福祉法人に託されている社会的使命の実践に努めています。



新潟みずほ園



みのり園



福祉会まつり

### 参加可能なイベント

#### ●みずほ福祉会まつり

【開催日時】（※平成30年は9月30日に開催しました。）

【対象】どなたでも 【参加費】無料

【内容】日頃、ご支援・ご協力いただいている地域住民等の方々に、みずほ福祉会各事業所及び、利用者に対する理解を深めて頂くことを目的に開催しています。

 {西区}

【住所】  
新潟市西区  
山田2517-9

【開所日】  
月～金  
9:00～16:00

【電話】  
025-233-6722

【FAX】  
025-378-6191

【ホームページ】  
<http://www.shirahasu.com>

## ワークセンターふあみりー

施設見学可

受入可能人数 5人程度

### 施設紹介

就労継続支援B型の事業をしている施設です。平日の9時30分から16時まで施設の中での箱折作業や水道メーターの分解作業、封入作業等の他、外へ出での農業の仕事にも取り組んでいます。また、製菓の製造も行っており、米粉を100%使用したパンや焼きドーナツ、ケーキなどの製造や販売もしております。モチモチしてとても美味しいので是非ご賞味を！実行委員が先頭に立ち、利用者の意見をくみ取りながら、利用者自らも年間の行事の予定を立て、進めています。

### 参加可能なイベント

#### ●余暇活動

【開催日時】平日（12:00～13:00） 【場所】当施設 【対象】どなたでも・2～3人  
【参加費】無料 【内容】将棋、オセロ、カードゲーム等を利用者と一緒に行います。

#### ●アート活動の体験

【開催日時】平日（12:00～13:00） 【場所】当施設 【対象】どなたでも・1～2人  
【参加費】無料 【内容】利用者と一緒に絵を書いたりします。

#### ●運動（エクササイズ）

【開催日時】平日（9:15～10:00の間の20分程度） 【場所】当施設  
【対象】どなたでも・1～2人 【参加費】無料  
【内容】利用者と一緒に軽い運動やエクササイズを行います。



{西区}

【住所】

新潟市西区  
寺尾2-25

【電話】

025-268-7000

【FAX】

025-374-0029

## 就労継続支援B型

施設見学可

# スペース B e

受入可能人数 3人程度

## 施設紹介

障がいの有無に関わらず「共に働く」を理念に活動をしている授産施設であり、身体・知的・精神の障がいがある方々が仕事に取り組んでいます。作業内容はワーク部門（清掃、草刈り、内職など）と菓子製造部門があり、ワーク部門では老人施設の清掃、企業・一般家庭の草刈り、遺品整理などの作業を行います。また、菓子製造部門では豆乳のシフォンケーキやおからの焼菓子を製造します。製造したお菓子は総合病院の売店や直売所に置いて頂き、好評を頂いています。各部門ともに売上の向上と一般就労を目指しています。ワーク作業、お菓子共にお客様に自信を持ってご提供できるものになっておりますので、是非ご用命ください。

## 参加可能なイベント

### ●お楽しみイベント

【開催日時】毎月（イベントの詳細内容は直接お問い合わせください）

【対象】どなたでも・10名程度 【参加費】イベントによる

【内容】毎月親睦会を兼ねて映画鑑賞やボーリング、花見など施設内外での交流会を行っています。

### ●スペース B e まつり

【開催日時】7月 【対象】どなたでも・100名程度 【参加費】無料

【内容】地域の方々と交流することを通して、施設の紹介と、利用者の方々が地域の方々とふれあい、社会性を養うことを目的とします。

## 就労継続支援B型

施設見学可

# スペース B e 新大前

受入可能人数 10人程度



{西区}

【住所】

新潟市西区  
五十嵐1の町6703-4

【開所日】

月～金  
10:00～15:30

【電話】

025-378-2770

【FAX】

025-378-2771

## 施設紹介

障がいの有無に関わらず「共に働く」を理念に活動をしている授産施設で、身体・知的・精神の障がいのある方々が仕事に取り組んでおります。作業内容は印刷全般（名刺・チラシ・封筒・伝票作成など）と手作り雑貨の部門があり、印刷部門ではデザインソフトを使用するなど、一般の企業に負けない品質と技術を目指しています。また、手作り雑貨の部門では手芸製品やステンシル商品など個性を大切にした雑貨を製造販売しております。印刷・雑貨共にお客様に自信を持ってご提供できる商品になっておりますので、是非ご用命ください。

## 参加可能なイベント

### ●名刺印刷体験

【開催日時】平日 【場所】当施設 【対象】どなたでも・1日2人 【参加費】300円

【内容】メンバーと一緒に自分の名刺を作成します。（作った名刺はお持ち帰り可能）

### ●ステンシル体験

【開催日時】平日 【場所】当施設 【対象】どなたでも・1日2人 【参加費】無料

【内容】メンバーと一緒にステンシルで布などに模様をつけます。

### ●スペース B e 新大前祭

【開催日時】12月 【場所】当施設 【対象】どなたでも 【参加費】無料

【内容】地域の方を招き、軽食のふるまいや、駄菓子等が景品のゲーム、名刺作製やステンシル体験をします<sup>34</sup>





施設見学可

# む す び や 結 屋

受入可能人数 5人程度

## 【住所】

新潟市西区  
五十嵐一の町  
6861番地23

## 【開所日】

月～金  
9:30～15:30

## 【電話】

025-239-5810

## 【FAX】

025-239-5811

## 施設紹介

2006年に「一人ひとりが大切にされる、安心できる居場所」を目指し、結屋は小規模作業所としてスタートしました。「結屋」という名前は、人と人とのつながりが広がっていくことを願ってつけられたものです。2017年4月、就労継続支援B型事業所に形態を変えましたが、『みんなの居場所』としての雰囲気大切にしながら、“楽しくゆっくり”をモットーに様々な作業や活動を行っています。

## 参加可能なイベント

### ●健康教室

【開催日時】第1月曜日午前／西総合スポーツセンター小体育室or結屋

【対象】どなたでも 【参加費】500円

【内容】健康運動指導士の方から、ゲーム性のある運動を通して正しい姿勢や身体の使い方やバランス運動等を学びます。

### ●絵手紙教室

【開催日時】奇数月第3水曜日午後／結屋 【対象】どなたでも 【参加費】500円（初回無料）

【内容】講師の方を招き、時季の草花を題材に、個性を大切にしながら絵手紙を楽しみます。

### ●料理教室

【開催日時】毎月金曜日午前／結屋

【対象】どなたでも 【参加費】500円（初回無料）

【内容】講師の方を招き、旬のものを使ったメニューを作ることを通して、食の大切さや楽しさを知ります。（例）2月：太巻き寿司・柿なます・いわしのつみれ汁・柚子餅



健康教室




絵手紙教室



料理教室



 {西蒲区}

【住所】  
新潟市西蒲区  
曾根223

【開所日】  
月～金  
9:00～16:00

【電話】  
0256-78-7564

【FAX】  
0256-78-7584

【ホームページ】  
<https://www.nmf.jp/>

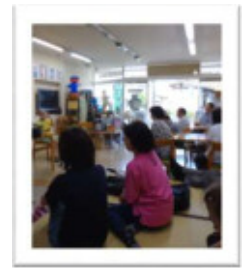
施設見学可

受入可能人数 5人程度

## 西川まちなかサロン

### 施設紹介

西蒲区西川地域の元気発信基地として、元気な笑顔でお出迎え！  
コーヒーで楽しいひとときを。店内はギャラリーとしても開放。  
また、毎月7のつく日はミニコンサートもあります。是非一度  
ご来店ください。



サロンコートの様子

### 参加可能なイベント

#### ●創作ワークショップ ほこほこ\*あ〜と

【開催日時】（※平成30年は8月25日、12月2日に開催しました。）  
【場所】当施設 【対象・定員】どなたでも・15名 【参加費】300円  
【内容】企画製作室BRIDGEの小林あかねさんを講師にお迎えして、  
毎回いろんなテーマで創作ワークショップを開催します。

#### ●サロンコンサート

【開催日時】毎月7・17・27日 13:00～（40分程度）  
【場所】当施設 【対象・定員】どなたでも・15名 【参加費】無料  
【内容】西川地域在住の音楽好きの方によるミニコンサートです。  
毎回いろんな楽器の演奏を聴くことができます。  
飛び入り参加も大歓迎です。

 {西蒲区}

【住所】  
新潟市西蒲区  
旗屋311番地

【開所日】  
月～金  
9:30～16:00

【電話】  
0256-70-4044

【FAX】  
0256-88-5044

施設見学可

受入可能人数 10人程度

## 工房はたや

### 施設紹介

障がいのある方が日中活動を過ごす施設です。個々の個性に応じ、いろいろな作業  
及び行事等を行っています。主な活動としては、はたやまつりの開催（年1回）、大  
豆まるごと豆腐「豆天使」及び関連商品の製造・販売、園芸作業などの施設外作業、  
箱折り作業など各種授産作業、リサイクル・資源回収、各種イベントへの出張販売を  
行っています。多くの方からまつりに参加して頂き、まつりを一緒に盛り上げて頂き  
たいと思います。また、施設にも見学に来て頂き、大豆まるごと豆腐「豆天使」をぜ  
ひ試食してみてください。

### 参加可能なイベント

#### ●はたやまつり

【開催日時】2018年7月7日（土）  
【場所】西川地域コミュニティセンター前駐車場  
【対象】どなたでも 【参加費】無料  
【内容】まつりに参加し、一緒に盛り上げましょう。  
出店販売の補助するボランティアも募集中。



はたやまつり

#### ●豆腐製造見学・試食会

【開催日時】平日  
【対象】誰でも。5名程度。【参加費】無料  
【内容】大豆まるごと豆腐「豆天使」製造見学、その他、豆腐を試食することもできます。



障がいのある人もない人も  
ともに生きる未来へ

「ともにプロジェクト」について

誰もが暮らしやすい  
共生社会をめざすために

新潟市では、平成28年4月に「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を定め、障がいを理由とした差別を解消し、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指しています。「話し合いによる相互理解の促進」など、条例の理念や目的などをより多くの方から知ってもらい、障がいや障がいのある人への理解を深めるなど、より良い共生社会の実現を目指して「ともにプロジェクト」を立ち上げました。



### 学校との連携

教育機関と連携することで、  
こどもの頃から障がいのある  
人とふれあい、交流する機会  
を創出します。



### 文化との連携

障がいのある人が描く感性豊  
かな作品を多くの人に発信し  
ます。

### スポーツとの連携

障がい者スポーツの魅力を  
より多くの人に伝えます。



### 企業との連携

行政主導ではなく、企業と  
ともに誰もが暮らしやすい  
共生社会を目指します。



発行 新潟市福祉部障がい福祉課

〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1

TEL : 025-226-1248 FAX : 025-223-1500

E-Mail : shogai.wl@city.niigata.lg.jp